

Training Center for Global Development
グルガーオン/ラジャスタン/ポンディシエリ

—プロジェクト詳細—



1. プロジェクトが語る状況

私たちの世界の繁栄や富は、その渦中にいる人々とともに増加しています。しかし、この繁栄や富は、全ての人々が持っているものではありません。

インドでは、何百人もの人々がみすぼらしさと貧困の中で生きています。子どもたちは飢えのために成長を妨げられ、将来の健康に育つ可能性を失います。



私たちは、新しい薬と進歩した科学時術が多くの病気を根絶した世界に住んでいると言えます。しかし、その一方で、世界には400万人の5歳未満の子どもたちが、予防可能な病気で亡くなっています。科学者たちは、ヒトゲノムを描くことができます。それでも、毎年25万人の女性が妊娠による複雑な合併症で亡くなっています。私たちの毎日のコミュニケーションの方法は、インターネットです。それでも、アフリカでは4千万人の子どもたちが教育を受けることができません。この差異がすさまじいものであることは、間違いありません。

私たちはまた、毎年8千億ドル以上が軍事費用に使用される世界で生きています。1日に使用される軍事費用に近い費用は、開発途上国で何百人もの命を救うことができます。このような統計と現実とは終りが未だに見ることができず、これに更にHIV/AIDSの破壊的な影響が加わります。

2005年は、世界中でHIV/AIDSとともに生きる人々が4,200万人という、驚異的な数字から始まりました。HIV/AIDSと生きる人々の数は、10年前より悪化しています。そしてまた、HIV/AIDSの流行の悪化の可能性があることは、誰の目に見ても明らかです。



私たちは、人間がそのような状況で生きるのを見過ごすことはできません。世界は激しい対立が高められた国際的な緊張と、テロリズムの恐れが付随するのを目の当たりにしました。ある人々は、テロとの戦いが勝つまで、貧困との戦いが必要ではないと主張するかもしれません。しかし、それは間違っています。私たちが長期の平和と安定をはかるために、不安定や対立の原因となる貧困問題を解決する必要があることは明らかです。

2. プロジェクトの概要



「Training Center for Global Development (TCGD)」とは、CICDと同じく世界各地に在籍するDRHスクールの1つで、インドのHumana People to Peopleが運営するプロジェクトの1つでもあります。

DRHスクールとは、Humana People to Peopleとともに、アフリカ・アジア・南米などの発展途上国において、貧困や教育の問題に直面している人々の生活を向上・改善することを目的に活動する、非営利団体のボランティア養成学校です。

TCGDも世界各地に在籍する12のDRHスクールとともに、年間を通して世界70カ国以上から集まる約600人のDevelopment Instructor（開発インストラクター。ボランティア、プログラムに参加した学生のこと）を養成しています。

3. DIの仕事について—指導教員としての活動



知識は力なり—それは常にあるものです。

行動とは、知識が使用された方法—それは社会と未来において、人々を利益、または損なう方法としてあります。

知識と行動から1つの「ツール」をつくります。そして、この「ツール」が人々のために、世界のために何をしなければならないかについて定めます。これは急進的な行動であるともいえ、長距離のように人間の歴史を見ると、これはまた、一般の現象ということもできるでしょう。

知識は何かによってもたれ、行動は他によってもたれ、知識のない行動はどこにもつながらず、行動のない知識はそれを無意味なものにします。

あなたが Development Instructor としてこのプロジェクトで活動するとき、あなたの主な役目は、指導教員として TCGD の Development Instructor（学生）を教育・指導することです。

したがって、あなたが指導教員として学生を教育・指導するにあたり、先に述べた「ツール」を上手に使いこなす必要があります。

Development Instructor をトレーニングする指導教員の責任分野

- 1) 計画を立てること
- 2) 教えること
- 3) 責任担当の仕事をする
- 4) 報告書を作成すること
- 5) その他

以下に、DIであるあなたが指導教員として活動する主な内容を具体的に説明いたします。

※注意：以下に出てくる「指導教員」という言葉は、DIとしてこのプロジェクト活動するあなたのことを指しています。逆に「Development Instructor」は、あなたが指導・教育にあたるTCGDの学生のことを指しています。



1) 計画を立てること

全体的な計画：

指導教員は、学校長と協力してDevelopment Instructor教育の全体的な計画を担当します。これは、DRH-Movementとインドの地元経験の基礎をもとに行われます。

毎月の計画：

指導教員は2ヶ月先までの計画を担当し、充実したプログラムを実施するために必要な準備を行います。

毎週の計画：

指導教員はDevelopment Instructorたちに情報を提供し、彼らの週計画がプログラムに基づくようにするように指導します。

指導教員の計画：

Studies/Courses/Experiencesプログラム（DMM学習）は、指導教員を含め、全ての疑問の解決に挑戦する方法です。



2) 教えること

指導教員は、DMM学習を基にDevelopment Instructorの指導・教育にあたります。

指導教員はDevelopment Instructorの全てのStudy課題をチェックし、可否を出します。指導教員は可否を出すにあたり、チェックした課題に対して適切なコメントやガイダンス、メッセージを送らなければなりません。全ての課題のチェックは、72時間以内に行います。

指導教員はDevelopment Instructorにとって刺激的であるコースを担当すると同時に、責任分野を分配する役目も持ちます。

3) 責任担当の仕事をする

指導教員は団体の決められた標準にしたがい、プログラム経費の会計を担当します。また、掃除やメンテナンス、コンピュータやその他の全ての器材を良く保つ責任ももちます。

4) 報告書を作成すること

指導教員はDevelopment Instructor 1人1人の進行状況などを毎週／毎月ごとレポートとして作成し、学校長に提出しなければなりません。

主なレポートの内容：

- ・プログラムの結論について

- ・業績について理論的に述べる
- ・実際に達成した事柄について
- ・授業から学んだこと（次のチームのために改善される点について）
- ・チーム・スピリットに関する結論

5) その他

指導教員はインドの開発に強い興味を示し、国際情勢にしたがわなければなりません。また、指導教員は常にDevelopment Instructorが目指すモデルであり、それと同時に、健康問題についての最新の知識を保持し、健康的なライフスタイルのモデルでもなければなりません。

TCGDの指導教員は、このプログラムを実行しているチームの1人でもあります。学校長は、リーダーシップを指導教員と他のスタッフに提供していく役割を背負います。

4. 目標とする回数

	その他、多くの責任	毎月ごと
1	1ヶ月ごとのコース	6
2	学校の掃除	25
3	Development Instructor の DMM 学習のチェック	180
4	Development Instructor のための特別活動の準備	1
5	Development Instructor との個人ミーティング	20
6	広報活動	20
7	コンピューター・ネットワークの設立	
8	SDB プログラムを全てのコンピュータにインストールする	
9	その他の確立	

5. 活動の留意点

1. TCGD 学校を運営しているチームの 1 人であることを認識する。
2. 重要な決定事を自分で判断するのではなく、毎月のスタッフミーティングで行う。
3. 学校長に毎週/毎月の報告を行う。

6. 報告と記録

Development Instructor としてこのプロジェクトで活動する人は、毎日の活動記録を保ち、デリーにおいて月報を地方協会に提出することを担当します。

また、毎月のレポートは Behror とポンディシェリで毎月開かれる Development Instructor 会議において、Development Instructor としてのあなたの評価のために使用されます。この Development Instructor 会議において、あなたは特別なケースで参加することができます。それと同時に、あなたはこのレポートを Behror、ポンディシェリとグルガオン TCGD の学校長に送り、報告する必要があります。

以上

Humana People to People in India
Project manager, TCGD
Elmer Vaerg